

# 「2<sup>nd</sup> Philippine Railway Conference」で講演

## 「列車運行における建築限界支障チェックのための 3D 測定技術」

2024年11月7日、フィリピン・マニラで開催された国際会議「2nd Philippine Railway Conference（第2回フィリピン鉄道会議）」（主催：フィリピン鉄道訓練センター）において、当社社員が技術発表を行いました。

同会議は、学术界、鉄道産業界と最新の鉄道技術に関する意見交換とともに、産官学によるネットワークを構築することを目的に開催されたもので、「フィリピン鉄道セクターにおける安全とセキュリティ強化（Reinforcing Safety and Security in the Philippine Railway Sector）」というテーマのもと、鉄道の保守管理に関する最新情報について意見交換が行われ、バウティスタ運輸大臣、在日本大使館からは二瓶大輔経済公使が出席の下、活発な議論がなされました。

発表概要は、以下の通りです。

<p>“3D Measurement Technology to Check Structure Gauge in Train Operations”</p> <p>「列車運行における建築限界支障チェックのための 3D 測定技術」</p> <p>澤田 亮</p>	<p>対象物の空間位置情報を、非接触・ノンプリズムで 3 次元の大量点群データが取得できる 3D 測定技術を用いて、駅施設のモデリングを行い、高精度の建築限界支障チェックを行うことが可能になりました。建築限界とは、列車運行に支障がでないよう定められている空間のことであり、この内側には構造物や標識を設置してはならないと日本では定められています。従来の方法に比べて、高精度、工期短縮、コスト削減、変状の把握や比較が容易といったメリットがあります。</p>
---	--

以上



<本資料に関するお問い合わせ>